



日本共産党 北区議会議員

のの山けん区政レポート

<http://kyoukita.jp/nonoyama/> mail@ken-nonoyama.com

No.503 2018.12.12

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

高すぎる国民健康保険料の負担軽減を

子どもの均等割を半額に

高すぎて、払いたくても払えない国民健康保険料が大きな問題になっています。

自営業者や高齢者、非正規労働者などが加入する国民健康保険は、加入者の多くが低所得者であるにもかかわらず、中小企業の労働者などが加入する協会けんぽと比べても2倍近くも重い保険料となっています。

全国知事会も、国保料を協会けんぽ並みに引き下げるために、1兆円の国費を投入することを政府に求めています。

北区議会第4回定例会代表質問で、日本共産党の本田正則議員は、国保料の負担を軽減するために、すでに昭島市、東大和市、清瀬市などが実施している子どもの均等割減額

党区議団が提案 区の試算で第二子以降なら5700万円で実現可能

をおこなうよう北区に求めました。

花川区長は答弁で、18歳以下の3分の1を第二子以降と仮定して均等割額を5割減額した場合、必要経費は年間で5700万円程度だとしながら、実施については「都やほかの自治体の動向も注視（する）」と答えるにとどまりました。

北区の積立金は過去最高の548億円。やる気さえあれば、均等割減額は可能です。新年度に向け、引き続き実施を強く求めています。（のの山けん）



赤羽東診療所が

30周年
記念

コンサート



花束を受け取る志茂弦楽四重奏団のメンバー

志茂弦楽四重奏団が演奏

8日に元気ぷらざで開かれた赤羽東診療所 30周年記念コンサート。クラシックから演歌まで、お医者さんなどで構成する志茂弦楽四重奏団の心地よい演奏に引き込まれました。（のの山けん）



赤羽小の位置めぐり協議

赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会幹事会開かれる

11月28日に、赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会幹事会が開かれました。ここで話し合われた内容について、協議会事務局である区のまちづくり推進課から話をうかがいました。(のの山けん)

赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会は、地域内に居住する住民、自治会、商店街会、PTAなどの関係者と北区が、まちづくりの勉強会や情報交換などを通して、互いに考え行動することで相互理解を深め、まちの将来像を考える場として、2009年10月に設立されました。

今回の幹事会では、すでに全体協議会が発表している「赤羽駅東口地区まちづくりゾーニング構想」(下図参照)に基づき、「地域の拠点施設」としての赤羽小学校の場所についてグループワークがおこなわれました。

現在の赤羽小学校は



赤羽駅東口地区まちづくりゾーニング構想

1961年に建てられた古い校舎で、改築が迫られています。一方、赤羽駅周辺では再開発の動きもあるため、協議会では今後すすめるまちづくりとの関係で、赤羽小の位置を検討する必要があります。

5年10月に幹事会がまとめた「赤羽小学校とまちづくりについて」という資料には、赤羽小を現在地で建て替える案とともに、「赤羽公園・赤羽会館を含む位置への再編」という案が記載されています。今月13日には引き続き幹事会を開き、協議を継続する予定です。

北区障害者作品展

9日、障害者福祉センターで開かれた障害者作品展を見学。毎年ながら力作の数々。気に入った作品は、しっかり購入しました。(のの山けん)

